

欣浄寺の御詠歌

松 濤 基 作 曲
高 倉 美 代 子 振 付

準備		正座し扇をぬいて前に置く	
唱え奉る 欣浄寺の		静かに合掌	
御詠歌に		右手で扇をとり左手をそえて左足をくずれ静かに立ち左足を右足に揃え両手夫々ももにおく	
歌	手	足	
(休)	扇を体前にて左手に受けて支える		
や		右足より四歩前進	
わ		左足	
		右足	
ら		左足	
		左足その位置で斜左に向きを変え	
ぐ		右足一歩前に出し	
る	顔を正面に向ける	腰をおとす	
(休)			
か	右手下からまわして	左足一歩前	
み	肩の高さに上げ斜左に反動をとり左手構えの	右足を更に一歩前に出し	
	姿勢顔をやや斜右上に向け	右足よりふみ出し右にまわり	
の			
		もとの位置にもどる	
ひ	両手下からすくう如くして高い目に合掌する	左足を出して止り更に	
	扇の要を上にして倒してもつ	右足を一歩出し	
か			
	静かに頭をさげる	静かに腰をおとす	

歌	手	足
り		
の		
(休)	扇を開く	
か	両手左右から	左足を斜右に出し
げ	大きくまわして体の前に	
	左手を扇の内側にして伏せる	
み	両手だんだん上にあげてから次第に開く様	両手にあわせて上体をゆっくり正面に向ける
	にしく、左、右斜下におろす	
ち	顔は右上よりゆっくり左斜上の方へ	
て		
(休)	扇をおどらして端をもち	
あ	体前に高くあげ左手は袂をもち	右足一歩前に出し
き	右手扇をヒラヒラ	右足 左足
	とおろしてから	右 左 四歩さがり
に	大きく頭上にかざし(表下)	
		左足をかけて、くるり右まわり

歌	手	足
(休)		
か	左手を袖口に入れ左肩の横に掌を正面にし	やや斜め左向き
わ	て立て、右手の扇は、前方より裏を上に向け	腰おとし正面を見る
	ながら左手の前に要を寄せる	
ら	右手下から大きく上にかざし	左足を斜右に出し
	左手袖口に入れたまま右胸の前に	
	ゆっくりもってくる	
	顔も手の動きにつれて右上を眺める洋に見る	腰おとす
ぬ		
(休)	扇を左手にもちかえ(表下)	そのまま腰をおろす
み	右手で本の頁をめくる如く	(右足後)
	1回(この時顔は右手の動きにそえる)	
じ	2回(この時顔は右手の動きにそえる)	
か (半拍休)		
よ	右手を扇の中央要の上に運び左手をおさえ	頭を正面に向ける
の	る如くし	

歌	手	足
(休)	右で扇を閉じる	
つ	右横で	
	ゆっくり扇を閉じて	
ウ	左手中から袖口をとり	
	左斜め前に伸し右手の扇を左袖付けの	
	あたりに持ってゆく	
	静かにゆっくり扇をだく如くする	
き		顔を静かに左より右へ移す
		顔
		斜右で止める
	扇をだき終る	
(休)		
(休)		
終って正座し一度構えて扇を前におき合掌する		

ポイント注意

- 【やわーらー】 扇と手の動作。扇を左に受ける動作が遅れないようにします。「鉦」の音に合わせて行います。
- 【みーじー】 手と顔の動き。めくる動作に目と顔の動きを合わせてください。
- 【かよー】 顔の動き。顔を自然に正面に向きます。